



日常

どんな時も端末タッチだけで、気持ちを表現できるようになったよ。



音楽

ピアノの鍵盤を叩いて演奏。



理科

実験の様子を写真で記録。



総合

他校とつながり、商品の依頼書を作成・送付。



注文のあった商品の伝票作成。

エクセルの縦横はレバーで動かし、この赤ボタンで選択決定。



正しい漢字をペンで動かすだけで選択して回答可能。

国語



音読も、目で文を追いながら音声も聞こえて、分からない時は何回も確認可能。



子ども達の学びの可能性が広がるのは素晴らしいけど…先生たちの **準備する時間** とか、**負担感** はどうなの？

負担感？

特別支援学校では、鉛筆では字を書けない子等、さまざまな子がいます。デジタルツールは、子どもたちの「選択肢」の1つとして重要な価値があります。キーボードなら入力できる、タッチするだけなら表現できるなど、「子どもたちに有効だから」ということでやりがいがあります。

準備時間？

実際に、「授業準備にかかる時間が減った」という事象は部分的にはあるようですが、職員の実感としては「慣れないため時間がかかる」「ネットワークが遅いためストレスを感じる」「端末のトラブルがある」といったことにより、「時間は増えた」という感想が大半を占めると思います。

端末を使って、職員会議もひと工夫 ペーパーレスで印刷数激減、時間も削減



職員会議資料 50 枚の資料を 40 組【1 時間】

タブレット端末活用で 2.3 組まで減【10 分】



2000枚

印刷



95%カット

120枚 印刷